

海のごみについて考えよう

～どこから流れてくるの？どうすればいいの？～

◆趣 旨

海洋ごみは、景観の悪化による観光への影響やごみの混在による漁業資源への悪影響のほか、ごみから浸出する汚染物質による水環境の悪化や野生生物の誤摂取や植物の光合成の阻害などによる生態系への被害など、経済的な分野に止まらず自然環境を保全する上でも、さらには廃棄物の不法投棄も絡み重大な社会問題となっています。

このような状況をうけ、海洋ごみの実態把握調査が環境省により平成19年度から実施されているものの、総合的な把握や抜本的で的確な対策の確立にはまだ時間を要する段階です。

そこで、環境省地球環境保全等試験研究費により瀬戸内海を対象に実施した海洋ごみに関する研究の成果及び海洋ごみを取り巻く状況について発表するとともに、円卓会議形式で海洋ごみ回収の取組を行っている方々と参加者を交えて意見交換を行い、今後の海洋ごみに対する政策提案をめざして、海洋ごみフォーラムを開催します。

この機会に、海のごみについて考えてみませんか。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

	<第1回>	<第2回>
日 時	平成20年11月15日(土) 13:00～16:30	平成20年12月20日(土) 13:00～16:30
場 所	ラッセホール ルージュローズ(2階) 兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8 TEL:078-291-1117(代)	ホテルニューフロンティア エミネンスホール(2階) 香川県高松市西の丸町14-7 TEL:087-851-1088(代)
定 員	各日100名程度(両日参加も可)	
主 催	海洋ごみフォーラム実行委員会 [(独)産業技術総合研究所、鹿児島大学、いであ(株)、(社)瀬戸内海環境保全協会]	
後 援 (予 定)	環境省近畿地方環境事務所 瀬戸内海研究会議	環境省中国四国地方環境事務所高松事務所 瀬戸内海研究会議
申込期限	11月5日(水)	12月10日(水)

◆参加料 無料

◆参加申込方法

申込書に必要事項を明記し、FAX、E-mail、郵送のいずれかの方法で下記宛先までご返送ください。
なお、参加証等は発行しませんので、お申込頂いた方は当日、直接会場にお越しください。

◆お申込・お問い合わせ先

海洋ごみフォーラム実行委員会事務局
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
国際健康開発センター3階 (社)瀬戸内海環境保全協会内
TEL:078-241-7720
FAX:078-241-7730
E-mail:web@seto.or.jp
http://www.seto.or.jp/setokyo/



詳細は裏面をご覧ください

プログラム

(事例発表者以外は第1・2回共通)

○ 開 会 13:00~13:10

○ 講 演 13:10~15:00

- ・海面浮遊・海底堆積ごみの挙動 柳 哲雄(九州大学応用力学研究所教授)
- ・海岸・河岸ごみの実態 藤枝 繁(鹿児島大学水産学部准教授)
- ・海洋ごみの発生地域の推定 橋本英資(独)産業技術総合研究所主任研究員)
- ・海洋ごみに関する国の動き 飯野 暁(環境省総合環境政策局総務課企画法令係長)

○ 総合討論・意見交換とまとめ 15:10~16:30

- ・コーディネーター：藤枝 繁
- ・パネリスト：柳 哲雄、橋本英資、飯野 暁
いであ(株)、(社)瀬戸内海環境保全協会
- ・事例発表者：各地域での活動団体

<第1回事例発表者>

- ・NPO法人海浜の自然環境を守る会 (兵庫県)
- ・NPO法人ゴミゴ・ゴミ拾いネットワーク (和歌山県)
- ・夢前川を美しくする会 (兵庫県)

<第2回事例発表者>

- ・有明浜を美しくする会 (香川県)
- ・地域づくり研究会「源流」 (愛媛県)
- ・堂々川ホタル同好会 (広島県)
- ・香川県環境森林部環境管理課

★地図 <第1回・神戸市>



アクセス
○神戸市営地下鉄
県庁前駅より徒歩5分
○JR、阪急、阪神、地下鉄
三宮駅より徒歩15分

★地図 <第2回・高松市>



アクセス
○JR
高松駅から徒歩3分
○琴電
高松築港駅から徒歩3分

参加申込書

海洋ごみフォーラム実行委員会 (FAX : 078-241-7730 / E-mail : web@seto.or.jp)までご返送ください。

申込期限：第1回は11月5日(水)まで 第2回は12月10日(水)まで

氏名	所属	TEL	FAX	第1回 (11/15)	第2回 (12/20)

※ 参加日に○印をつけてください。